

牛沼生まれの熱血校長 坂本龍之輔



(町田市民文学館提供)

秋川に架かる秋留橋の少し手前の道端にある小さな碑を存じてしようか。それは、明治から大正にかけて、東京下町に住む、恵まれない境遇の子どもの教育に熱意を注いだ教育者坂本龍之輔の敬慕碑です。不遇の子どもたちのために力を尽くした先生を紹介します。

龍之輔は明治3年、牛沼村に生まれました。坂本家は、江戸時代に八王子千人同心を務めていた家で、明治維新後は農業の傍ら、染め物業も営んでいました。幼い頃から虚弱児で、食べものの好き嫌いが激しく、父親の溺愛を受けて育ちました。学業面では、明治9年に共和学校(西秋留小学校の前身)に入学、同15年に中等科を卒業。その後、高等科で学びながら、助教として母校の教壇に立ち小

学生を教えました。明治24年に神奈川県師範学校を卒業し、最初の赴任先は西多摩郡古里村(現奥多摩町)。通学区毎の自習会をひらき、自習を勧めたり、村有林を学校財産とし、それによる利益により保護者の費用負担の軽減を図ったりと、優れた教育実践を展開しました。その後約10年間は多摩地域を中心に教鞭を取りました。

明治33年、その教育力を見込まれ、東京市へ赴任しました。東京市では、貧困により就学ができない子どもたちのための学校新設に文字どおり地域を奔走。明治36年3月、龍之輔の尽力が

実の小学校を開校訓導(教員)兼校長を任されました。開校したものの学校経営は多難山積。様々な厳しい環境に置かれた子どもたちは基本的な生活習慣ができていない子や、目や耳に病を患っている子などが多く在学しており、そこで、他の学校では考えられないような独自の教育活動を展開し、学校運営を行っていききました。また、夜学部を開設し、学校に行けなかった成人や昼間就労している子どもの学習環境の充実にも注力していききました。

龍之輔は日本が近代化し、急激に変化していく時代に教育に心血を注ぎました。郷土の先人が繋いできたバトンは今、私たちに託されています。次の世代のために、私たちが今をどう生きるのか、ぜひ考えていきたいものです。



敬慕碑

大自然を満喫!



大島・子ども体験塾

8月8日から11日まで、あきる野市と羽村市の共同開催による「大島・子ども体験塾」を実施しました。8月25日には、羽村市役所において、事後活動と閉校式を実施しました。

事後活動では、大島町で過ごした4日間の現地活動を通じて学んだこと、感じたこと、伝えたいことなどを班ごとに協力して新聞にまとめました。

国際交流の架け橋に! 中学生海外派遣事業

中学生海外派遣団(市内公立中学校長の派遣団長と中学生8人)が11月29日から12月6日まで、国際姉妹都市のマルボロウ市を訪問します。ホームステイ中、団員はミドルスクールの生徒たちと交流し、日本文化の紹介や学校体験等を通じて、両市の文化理解を深めます。



令和6年度あきる野市教育の日 「未来を築く青少年健全育成あきる野市大会」を開催します

教育委員会では、市民の教育への関心と理解を深め、次代を担う子どもたちの教育に関する取組を市全体で推進するため、毎年12月第1土曜日を「教育の日」と定めています。

今年度は、12月7日に秋川キララホールで、「中学生の主張大会」と「小学生人権メッセージ発表」を実施します。中学生は日頃感じていることや願いを、小学生は人権について考えていることを発表しますので、ぜひお越しください。



Nguyenさん 丹治教育長 前田千尋さん 関貴子さん

アーティスト・イン・レジデンス事業

平成5年から始まったこの事業(今年で30回目)は、国内外の若手版画家を戸倉の「アートスタジオ五日市」に招へいし、国籍を超えた創作活動の機会を提供することによって、芸術や異文化への相互理解を深めることを目的に実施しています。

招へい者の作品



前田千尋さん「荘厳」



Nguyen Quang Trungさん(ベトナム国籍)
「One sought to know himself, Stepped towards, the morning light」



関貴子さん「ImplicationⅧ」

残り1か月となった滞在期間中、引き続き、作品展へ向けての創作活動が行われます。

版画作品展

招へい者が滞在期間中に制作した作品を展示するので、気軽にお越しください。

● 期間 11月16日～24日(火曜定休日)

● 会場 戸倉しろやまテラス 3階第2展示室

● 入場料 無料